

# 茅沼地区旧川復元工事予定箇所に生育する貴重種の移植立会

- 場所: 釧路川右岸移植地
- 平成18年10月17日
- 参加者名簿

## 旧川復元小委員会

- 委員長 神田 房行
- 委員 高山 末吉
- 委員 須摩 靖彦

## 事務局

国土交通省北海道開発局釧路開発建設部

### 1 移植(配慮)対象種

保全対象とする種は、以下の指定種を対象とする。

- ・法令や条例で保護が義務づけられている植物
  - ・環境省レッドデータブックに絶滅危惧 I 類に指定されている種
  - ・北海道レッドデータブックで絶滅危機種、絶滅危惧種、絶滅危急種に指定されている種
- 今回はエゾナミキソウ、シコタンキンポウゲ(環境省RDB絶滅危惧 I b類)が確認されています。

### 2 移植候補地の選定

以下の観点で選定した。

- ・今後人為改変を受ける可能性が極めて小さい場所であること
- ・該当種の本来の生育環境に合致すること
- ・既存の湿原植生または河畔林植生を破壊しないこと

### 3 移植候補地の中から、保全対象種の移植先

移植候補地の中から前述の3つの条件を満たす移植先を選定します。(候補地は下図参照。)

### 今回の移植対象種

保全対象種の立地環境として典型的な場所は明るい草地。



シコタンキンポウゲ



エゾナミキソウ

## 4 移植の流れ

### 生育地



種の確認



ほりとり



移動

### 移植地



移植先のほりこみ



水やり



移植場所のマーキング



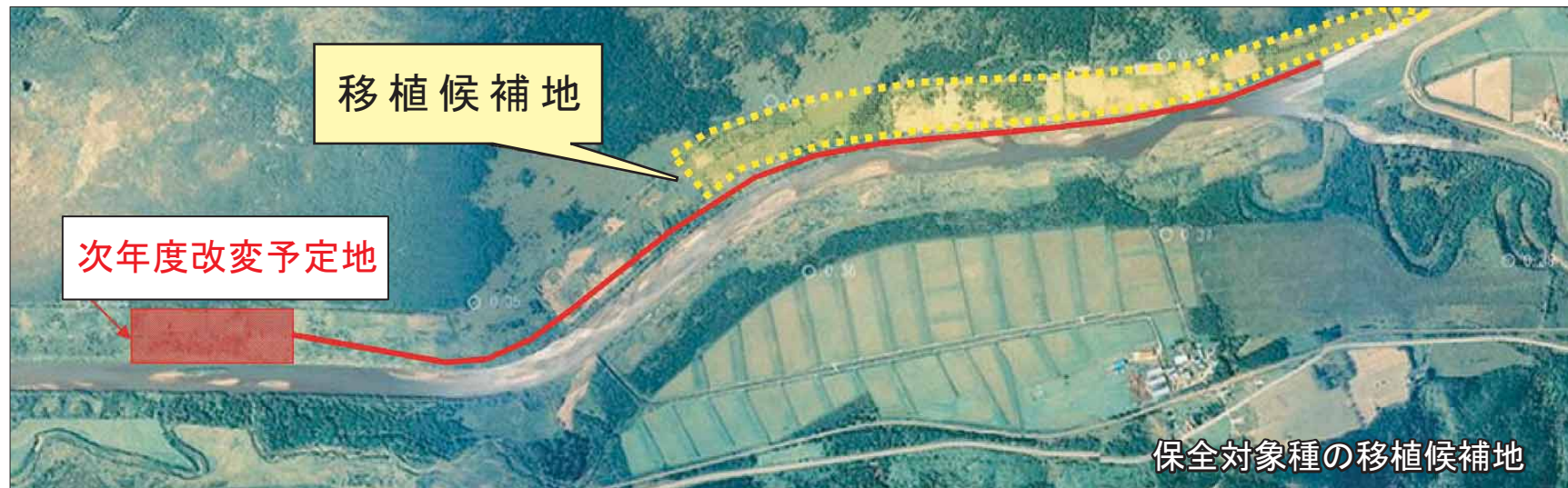
このような意見が出ました

●:委員

- 道東には、たくさんある種である。
- ここ(作業説明箇所)は砂が多すぎる。もう少し砂が少な目の方が良く、草地化している周辺に植えるのが良い。オオアワダチソウが目立つ。
- 林の入り口辺りで、南側に大木などなく陽の当たる方が良い。できうる限り土を多めに周りの草も含めて掘り取ったほうが良い。埋め戻しは足で踏むなどしてしっかり締め固めたほうが良い。そうしないと凍上融解を繰り返していくうちに周りの土が減っていく。
- 来春に活着してくれれば良い。ここら辺りの裸地化している所なら、外来種のオオアワダチソウが入ってきており、それを駆除して在来種を移植することは良いこと。湿原植生の所はまずい。大規模に移植するならば砂地の所なら客土で土を入れ、その上に移植するのが良い。



5. 次年度事業実施位置と移植候補地付近の空中写真



当日は旧川復元小委員会委員及び釧路開発建設部職員などで移植作業を実施

